

## 解 答

- 問一 プンちゃんの家で決まりであるということを示そうという気持ち。
- 問二 選ばれて当然という本音をかくし、自分の公平さを示したかったから。
- 問三 ウ
- 問四 イ
- 問五 中西くんの案の方がすぐれていることを自分も認めないわけにはいかないこと。  
クラスに君臨していた自分が、今までとは逆にいたわられる立場になったこと。
- 問六 ア
- 問七 自分にまわりついていた三好くんでさえ「モトくん」と呼ぶほど、中西くんがクラスの中で確かな存在感を持ち、みんながその力を認めているから。
- 問八 中西くんの案が自分の案よりすぐれていたというだけではなく、中西くんが勝ち負けにこだわらず、自分を気づかうような態度を見せたことで、自分是对等な勝負さえしてもらえなかったのだと思い知らされている。
- 問一 Ⅰ エ 2 ア 3 オ
- 問二 Ⅰ ア Ⅱ オ Ⅲ ウ
- 問三 家族がいっしょに食事をする機会を作り、家族の絆を確認するための施設であるから。
- 問四 ・レストランの深夜化  
・テイクアウトショップ利用者の低年齢化  
・コンビニの急増
- 問五 自然と接触し、自然と離れては生きていけないと思い知らされることがなくなるから。
- 問六 自分自身の生の証を確認する場面
- 問七 食事の時間や一日の食事回数がきちんと決められていて、食事の時間になったことを音やにおい、眼などの五感によってとらえ、満ち足りたという思いとともに食事を終えるという、生の実感をともなう食欲。
- 問八 ① 豊富 ② 台頭 ③ 敬遠 ④ 延長 ⑤ 温 [かさ]